

## 今回の採血規準改定の要点

清水 勝

キーワード：採血基準，年齢，男性，ヘモグロビン値，インフォームドコンセント

近く採血規準の一部が改正される。今回の改正は、厚生労働省“献血推進のあり方に関する検討会”のワーキンググループ報告について検討された報告書<sup>1)</sup>を、さらに血液事業部会での審議を経たものである。今回の改正点の背景と今後の課題を整理しておきたい。

年齢：400ml 全血採血では男性のみ17歳に引下げられた。その理由は、400ml 採血が20余年間特に問題なく実施されてきたこと、厚生科学研究班からの安全に

実施できるとの報告<sup>2)</sup>及び内外の文献検索による。最近若年者からの採血では血管迷走神経反射（VVR）の頻度が有意に高く、慎重に採血する必要があると報告<sup>3)</sup>されたが、採血を中止するとの勧告は出されていない。わが国の上記研究班報告では、17歳男性のVVRは対照群の18,19歳男性よりもむしろ少ない傾向にあり、VVR対策を積極的に講じることを条件に可とされた。17歳女性、16歳男女の400ml 全血採血と16,17歳の成

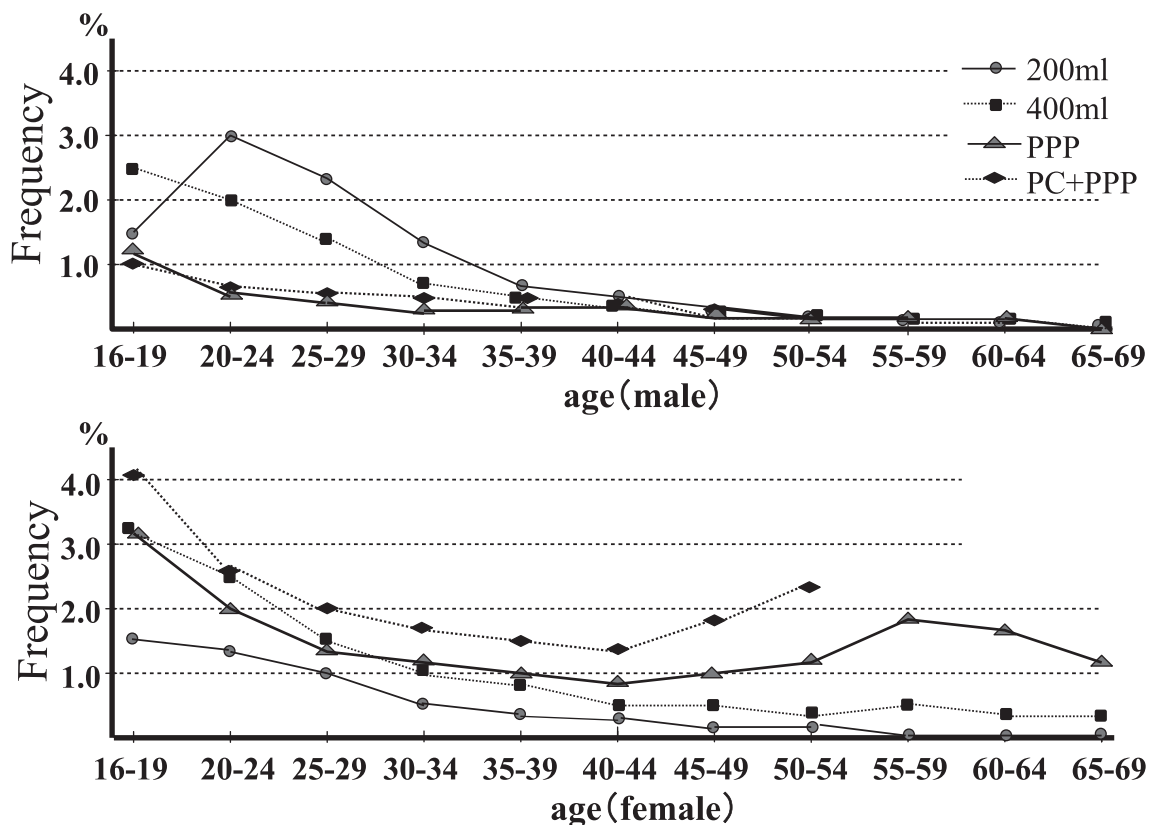


Fig. Frequencies of vasovagal reactions of male and female blood donors by donation methods in 2007. Frequencies of vasovagal reactions in female apheresis donors continued to increase from 45-49 to 55-59 year groups versus decrease in the male donors. (Data presented by Japanese Red Cross Society)

分採血についてはデータがなく、今回は検討されなかったが、既に社会的なコンセンサスは得られていると考えられることから<sup>4)</sup>、順次検討を進めることが望まれる。

成分採血：血小板成分採血 (PCa) の年齢が、男性では 69 歳に引上げられ、65 歳以上の対象者は他の基準と同様に 60 歳から 64 歳での採血経験者とされた。現行の PCa 採血規準は、HLA 適合血小板製剤の供給を前提にしていたこと、さらに PCa では献血者を長時間拘束することなどから、54 歳とされた経緯がある。成分採血実施時の VVR 発生率をみると、女性では各年代とも男性よりも高いが、加齢とともに同様な減少傾向を認めるものの (Fig.)、45~49 歳からは逆に上昇傾向を示し、若年者よりは低いものの、その原因について引き続き検討することになった。

血色素量 (Hb)：近年、貧血検査には血液比重は用いられていない。最近、簡便な精度の良い Hb 測定機器が開発されたことから、献血時も Hb の測定に統一することにし、測定機器の不具合時には血液比重を代替とすることも可とされた。さらに、男性献血者の Hb を 0.5 g/dl 引き上げ、13.0g/dl 以上になったが、それは日赤の採血現場ではその値未満の場合には極力採血していない現状に合わせたことによる。将来的には献血者各個人ごとの Hb の基準値内での採血を行うようにすべきであろう。

200ml 採血：現在でも 200ml 採血が 10 数%も供給されていること、また将来の血液不足時対策としても当

面は温存されることになったが、将来的には 400ml 採血に 1 本化することが望まれる。

インフォームドコンセント (IC)：未成年者の場合、親権者からの承諾は必ずしも必要ではないとされた。それは既に長年の 200ml 採血の実績のあること、また起こりうるリスクは十分予測可能な範囲内にあり、適切な情報の提供により理解可能であるとされ、リスクへの十分な対策を講じることを条件に可とされた。

今後とも、安定的に血液の供給を確保するには、献血者増加を図ると共に対象者の範囲を拡大することにも努める必要があると考える。

## 文 献

- 1) 厚生労働省医薬品局血液対策課：献血推進のあり方に関する検討会報告書 (平成 21 年 3 月 10 日)。血液製剤調査機構だより、112：6—13, 2009.
- 2) Fujitani K, Yamamoto S, Nakajima K, et al: Safety of 400 ml whole blood collection in 17-year-old Japanese male donors. 日本輸血細胞治療学会誌, 55: 29—36, 2009.
- 3) Eder AF, Hillyer CD, Dy BA, et al: Adverse reactions to allogeneic whole blood donation by 16- and 17-year-olds. JAMA, 299: 2279—2286, 2008.
- 4) 竹中道子, 神谷 忠, 杉浦さよ子, 他：16, 17 歳 (高校生) を対象とする 400mL 全血と成分採血導入の可否—介入試験による検討. 日本輸血細胞治療学会誌, 52：684—692, 2006.

## IMPORTANT POINTS OF THE NEW REVISION OF BLOOD COLLECTION STANDARDS

Masaru Shimizu

Department of Internal Medicine, Saiki Hospital

### Keywords:

blood collection standards, age, male, hemoglobin, informed consent